いいせん便り

～いい・医療連携・せんだい～

令和3年10月
編集・発行：川内市医師会在宅医療支援センター
TEL:0996-22-4021（直通） FAX：0996-22-8114
ホームページ：https://iisennet.jp/

川内市医師会は、薩摩川内市と業務委託契約を結び、在宅医療推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み・在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

第1回いいせんネット研修会 （令和3年7月16日）

テーマ：摂食嚥下・口腔ケア～食べる楽しみを支えるためにできること～
①講演：口から食べる意義とオーラルフレイル
講師：米良歯科医院 院長 歯科医師 米良 貴久氏
②講演：嚥下の基本と誤嚥の予防
講師：川内市医師会立市民病院 言語聴覚士 丸田 竜也氏

参加者86名(会場参加者 41名、オンライン参加者 45名)

口から食べることや口腔ケアの大切さを再認識したという感想を多くいただきました

第1回お昼のレベルアップ研修会 （令和3年8月5日）

テーマ：今日から活かせる！対象別のケア (計3回予定)
第1回：高次脳機能障害のある患者のケア
講 師：川内市医師会立市民病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 福永 香氏

参加者14名(会場参加者 2名、オンライン参加者 12名)

難しい症状についてわかりやすくていねいに説明していただきました

第2回：視力・聴力障害のある患者のケアは11月30日(火)を予定しております。
(対象者：医療機関、介護保険事業所に勤務する看護職・介護職)
第2回も、オンラインでもご参加いただけます。興味のある方は在宅医療支援センターまでご連絡ください。

高齢者サロン

研修会の開催や周知活動において、密を避け、感染対策として、マスクの着用、アルコール消毒液などの感染防止資材の準備等を十分におこなって、実施しております

感染対策を充分おこないながら、今後も在宅医療や医療介護連携に関する周知活動を継続していきます

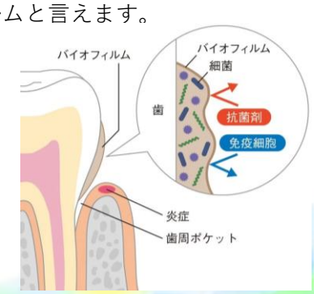
川内市医師会 在宅医療支援センター
TEL：0996-22-4021 FAX：0996-22-8114
在宅歯科医療推進室は、令和３年４月１日に川内市医師会在宅医療支援センターに移転（統合）いたしました。

気軽にお電話ください

お口の中のバイオフィルム

お口の中には、体の中で大腸と同じくらい多くの細菌が生息しています。この細菌の増殖を制御しているのが唾液ですが分泌が減少すると、お口の中の細菌は急激に増加します。これらの細菌は抗菌剤や洗口剤に抵抗するバイオフィルムという鎧を持ち合わせています。聞き慣れない言葉ですが、このバイオフィルムは細菌が産生する接着剤のような物質で、歯や舌、義歯の表面に付着し、薬剤に抵抗しながらバイオフィルムの中で細菌が増殖していきます。家庭で目にする排水口や流しのヌルヌルもバイオフィルムと言えます。

このバイオフィルムの中の細菌を除去するためには、歯ブラシや歯間ブラシ、糸ようじ、舌ブラシ等で丁寧に取り除くか、歯科医院での専門的なケアが必要です。そして右の図のように、歯ブラシの届かない歯周ポケットの中のバイオフィルムは歯科医院でしか除去が出来ないことがあります。 食後4～ 8時間程で歯垢(細菌が繁殖したかたまり)は形成され、バイオフィルムは48時間～72時間程で形成されますので、少なくても1日3回の歯磨きは必要となります。



今日からこのバイオフィルムを意識したお口のお手入れへの挑戦と、定期的な歯科受診をぜひお勧めします。

川内市医師会在宅医療支援センター 林 千鶴

緩和ケアとは、「その人が病を抱えながらも、自分らしく(よりよく)生きることを支えるケア」

社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院
緩和ケア認定看護師 ： 古川 いづみ

人生の最終段階に限らず、**がんなどの大きな病気と診断されたその時から**ケアが始まります。
またつらいのは家族も同じなので、家族もケアの対象になります。
済生会川内病院では、患者さん・家族を中心に、各専門職で構成されている**『緩和ケアチーム』**と担当医や看護師などのコメディカルスタッフが協働して、その人の日常生活の妨げになる様々なつらさが和らぎ、穏やかさが戻るよう、多方面からアプローチしています。
また、解決できないその人の苦しみ・悲しみにも寄り添います。
最近は、**心不全・認知症などがん以外の疾病**に対する緩和ケアも重要視されてきており、疾病に関係なく、全ての方がより良く生きるために必要なケアと認識されています。
そして一番自然に自分らしく生きられる場所は、**住み慣れた地域**だと思います。
最期までその人らしさを支えるためには、**【ACP：アドバンス・ケア・プランニング】**その人の大切にしたいこと・望む生き方などを日頃から皆で話し合い共有し、その想い(意思)を繋いでいくことが欠かせません。 **地域(自宅・施設等)と病院が1つのチーム**となり、地域みんなでひとり一人の意思に添ったケアが提供できるように取り組んで行きましょう。

地域の皆さん、一緒に『緩和ケア』を学びませんか？
毎年8月にがん・非がんの診療をされている先生方、コメディカルスタッフ対象に**『緩和ケア研修会』**を開催しています。また、地域の看護師さんも参加可能な**『がん看護』**の基礎研修会も5回シリーズで行っています。
ご要望時は、職種は問わず、各施設に出向かせて頂き**『出張研修会』**も行いますので、是非声をかけてください！！

【今後、地域で進めていきたいこと】
当院は、各訪問看護ステーションから依頼があれば、緩和ケア認定看護師が訪問看護師さんと一緒に利用者さんのご自宅に訪問し、痛みのコントロール等の症状緩和、意思決定支援、家族ケア等も行なう体制を今後準備していきます。
お電話での相談にも、緩和ケアチームで対応しますのでご連絡ください！

在宅医療支援センターより **今後の予定： 12月 いいせんネット研修会 (テーマ：排泄ケア)**
今年度も、状況をみながら、研修会等を会場・オンライン参加を併用して開催するつもりです。
コロナ禍で皆様も大変な思いをされていることと存じます。一日でも早く、安心して過ごせる日常が戻ること、ならびに皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

いいせんネット 検索